

第5回ポルトガル語スピーチコンテスト 開催しました

2月15日午後1時より大阪市中央区のタカラベルモント大阪本社会議室において「第5回 ポルトガル語スピーチコンテスト」を開催しました。

全国からの応募者9名から作文の提出を経て出場した6名が、それぞれ日頃の成果を発揮しました。

スピーチ終了後には、昨年の協会長受賞者が登場し、ブラジルでの体験を語っていただきました。

そして、いよいよ審査結果の発表。5名の審査員による厳正な審査の結果、大阪・サンパウロ姉妹都市協会会長賞、大阪市長賞、審査員特別賞の入賞者が選ばれました。

協会長賞入賞者には、副賞としてエミレーツ航空から航空券が授与され、今年の夏に親善大使として、サンパウロに派遣されることになっています。語学の一層の研鑽と生活体験の機会を通じ、姉妹都市交流はもとより、国際的な相互理解と友好親善の担い手としての活躍が期待されています。



なお、タカラベルモント株式会社から参加者全員に記念品が贈られました。

コンテスト終了後に開催した懇親会には、出場者、審査員、協会役員、見学者など約30名が参加。ポルトガル語を学び、ブラジル・サンパウロを愛する人たち同士、楽しく交流されていました。

(事務局)



コンテストの様子



昨夏の留学報告の様子



懇親会の様子

入賞者の皆さん

大阪・サンパウロ姉妹都市協会会長賞

嶋村 知恵さん (浜松医科大学付属病院)



発表テーマ「勇気」

大阪市長賞

堅田 正輝さん (京都外国語大学外国語学部)



発表テーマ「エスコラデサンバ
ーブラジル社会の模索として」

審査員特別賞

國政 洋平さん (京都外国語大学外国語学部)



発表テーマ「ブラジルへの恩返し」